

2011 年度 第 2 回 環境災害対応委員会 議事録

日時：2011 年 10 月 4 日 15 時 30 分～17 時 30 分

場所：東京大学理学部 1 号館 843 号室

出席者：近藤昭彦（リモセン学会）、真木雅之（水文・水資源学会）、須貝俊彦（地理学会）、石原正仁（気象学会）、江守正多（気象学会）、杉田倫明（水文・水資源学会）、松本 淳（委員長・議長・書記）

1. 前回議事録の承認

議事録案の出席者の名前をフルネームとし、所属学会を併記する修正をして承認した。

2. 2011 年前半（連合大会後）の活動報告

- ・各学協会の東日本大震災への対応に関する照会とそのとりまとめ（配布資料）

出席者のある学会からは報告を受け、欠席した学会については、メールでの情報から作成した配布資料に基づいて概要を紹介した。各学協会は、会長・理事長などの声明・提言などの発表、シンポジウム等の開催、HP での情報発信、被災者への会費減免、学校・研究機関への支援金支給、関連研究の推進などを積極的に行っていることが明らかになった。

3. 今後の活動方針

- ・来年度の連合大会

以下の 3 セッションについて提案がなされ、委員会として提案母体または共催とすることとした。

1) 都市における極端気象（提案者：真木 昨年度と同様）

提案母体：地球惑星連合環境災害対応委員会（松本）

共催：水文・水資源学会（真木）、日本気象学会（石原）、日本地理学会（松本）

いずれも承諾予定

代表コンビーナ：松本、共同コンビーナ：真木・石原・1 名追加予定

提案セクションは、ユニオン（第一希望）、領域外（第二希望）

昨年同様、土木学会、日本災害情報学会、日本自然災害学会にも協賛依頼をする。

2) 人間環境と災害リスク

提案母体：日本地理学会、共催：日本第四紀学会・地理情報システム学会・

日本国際地図学会・日本地質学会・火山学会（予定）・環境災害対応委員会（松本）

3) 福島第一原子力発電所事故による環境汚染への地球科学からのアプローチ

提案母体：大気海洋セクション（?）、環境災害対応委員会は共催（松本が共同コンビーナ）

また大震災に対する各学協会の対応等を勘案し、新たに「地球惑星科学と社会（仮）」に関するセッションを当委員会が中心となって企画することが検討され、10月6日の理事会で本委員会より提案することとした。

- ・HPの開設

学会のHPが更新されたが、委員会のページはまだできていないので、速やかに立ち上げ、今回の配布資料などの情報を公開することとした。

4. 中長期的活動

連合の役割として、社会へ向けての正確な知識の発信・普及・教育のため、関連する論文リストの作成、研究成果の日本語での解説、各学協会の活動の集約などがあることが議論された。